

平成 29 年 12 月 28 日

問い合わせ先

土木部道路課 おくむら みの
奥村、三野

TEL087-832-3525(内線 4174)

空港連絡道路(県道円座香南線(香南工区)) の事業概要について

県道円座香南線(香南工区)は、高松西ICから高松空港へのアクセス道路約9kmのうち、現在整備している中間工区3kmに連続する、県道岡本香川線から県道高松空港線までの約6kmの区間です。

当該工区の事業の必要性・効果等を示した事業概要を、香川県ホームページに掲載しました。

◆事業概要

- (1) 路線・工区名 主要地方道 円座香南線(香南工区)
- (2) 事業主体 香川県
- (3) 事業箇所 高松市岡本町～高松市香南町
- (4) 事業内容

高速交通体系の整備効果を活かし、空港へのアクセス向上や空港の拠点性を高めるため、概ね 60km/h のサービス速度で走行できる地域高規格道路として整備します。

- ・事業費(事務費除く) 145億円
- ・整備延長 5.9km
- ・計画幅員 県道岡本香川線～県道三木綾川線 4車線 W=25.0m
県道三木綾川線～県道高松空港線 2車線 W=16.5m

- (5) 事業の必要性

平成 29 年度中に供用開始する中間工区から連続する当該区間(香南工区)を引き続き進めることで、高速交通体系の整備効果を活かした空港へのアクセス向上を図り、空港民営化とともに増加するインバウンド観光をさらに後押しします。

- (6) 事業効果

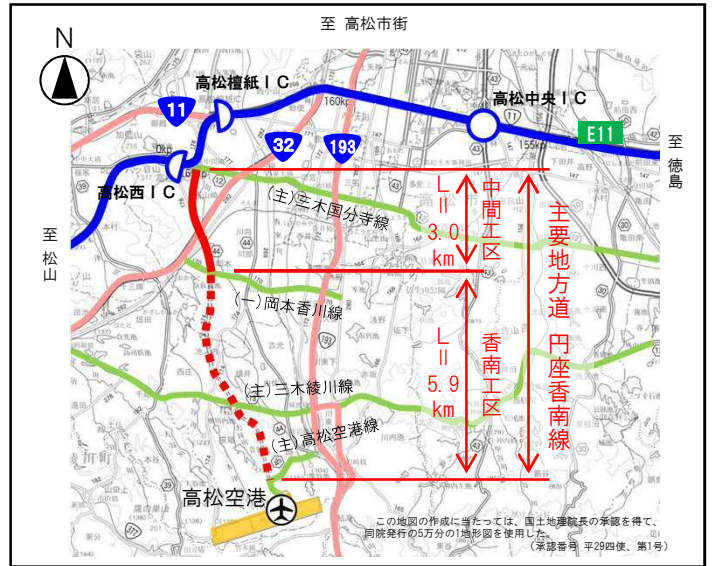
- ・最寄り高速IC(高松西IC・高松檀紙IC)から空港へのアクセス時間の短縮
- ・空港アクセスに欠かせない定時性の確保
- ・並行幹線道路の交通渋滞緩和
- ・大規模災害時における緊急輸送道路の確保

事業概要

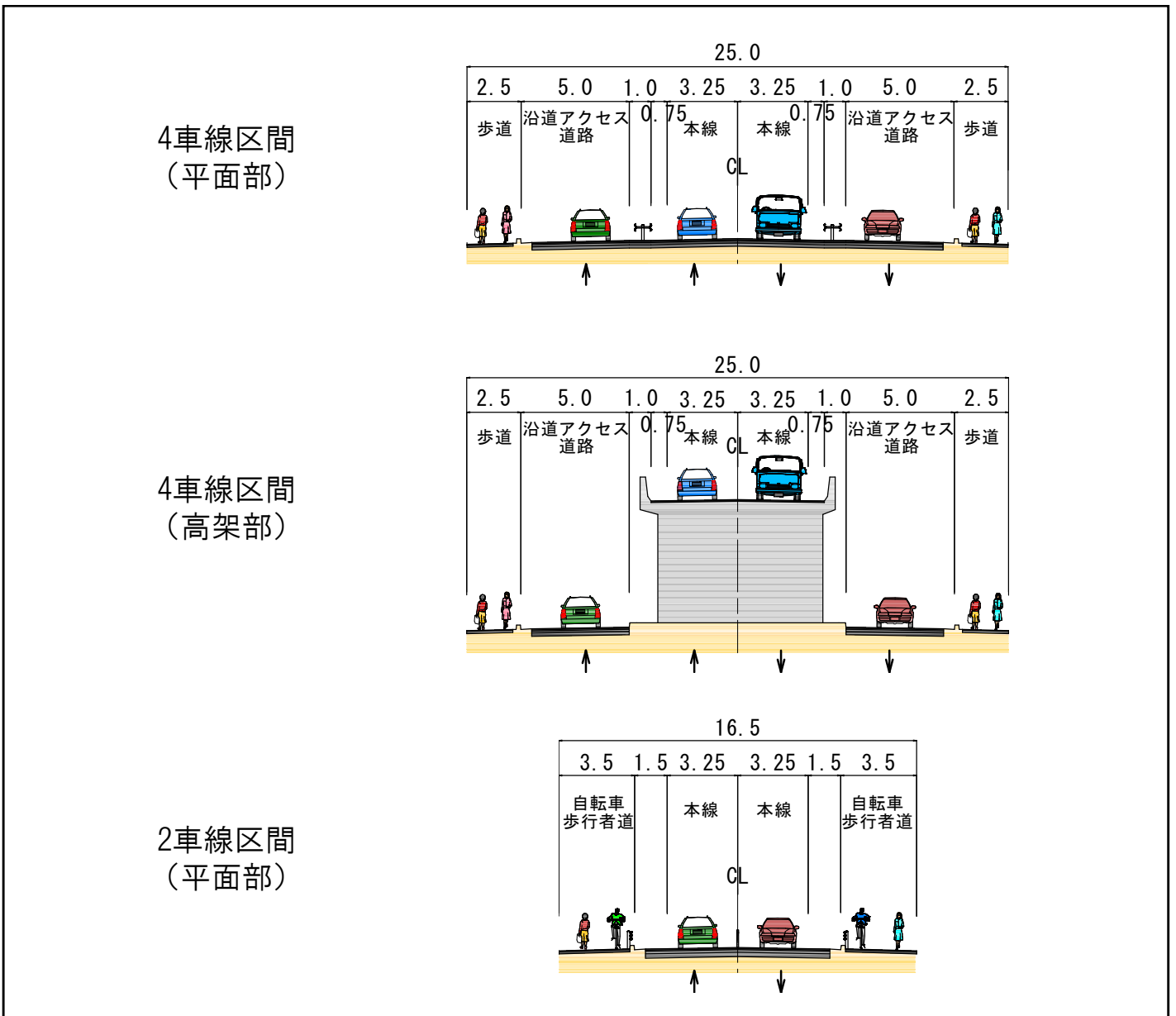
路線名 (工区名)	主要地方道 円座香南線 (香南工区)	事業名	道路改築事業	補助/単独	補助
事業主体	香川県	事業箇所	高松市岡本町～高松市香南町		
事業概要	目的	<p>主要地方道 円座香南線 (香南工区) は、高松西 I C から高松空港へのアクセス道路約 9 k m のうち、県道岡本香川線から県道高松空港線までの約 6 k m の区間である。</p> <p>当該工区は、高速交通体系の整備効果を活かし、空港へのアクセス向上や空港の拠点性を高めるため、概ね 60km/h のサービス速度で走行できる地域高規格道路として整備する。</p>			
	内容	<p>◇ 整備延長 : L = 5.9km</p> <p>◇ 計画幅員 : 県道岡本香川線～県道三木綾川線 4車線 W = 25.0m</p> <p>県道三木綾川線～県道高松空港線 2車線 W = 16.5m</p>			
	都市計画上の位置付け	高松広域都市計画道路 3・4・114 郷東香南線 (平成 29 年 12 月 1 日 香川県告示第 350 号)			
事業の必要性	社会的背景	<p>◇ 主要地方道 円座香南線の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年 3 月 中間工区の側道部の全線供用開始 ・平成 29 年度 中間工区の高架区間の供用開始 (予定) <p>◇ 高松空港等の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度現在、高松空港定期路線利用者数は、平成 26 年度以降 3 年連続で過去最高値を記録し、県内の外国人延べ宿泊者数の伸び率は前年比 7 割増で全国トップ ・平成 30 年 4 月 高松空港の民営化開始 (予定) ・平成 30 年度末 高松自動車道全線 4 車線化が完成 (予定) 			
	必要性	平成 29 年度中に供用開始する中間工区から連続する当該区間 (香南工区) を引き続き進めることで、高速交通体系の整備効果を活かした空港へのアクセス向上を図り、空港民営化とともに増加するインバウンド観光をさらに後押しする。			
事業の有効性	効果	<p>◇ 最寄り高速 I C (高松西 I C ・高松檀紙 I C) から空港へのアクセス時間の短縮</p> <p>◇ 空港アクセスに欠かせない定時性の確保</p> <p>◇ 並行幹線道路の交通渋滞緩和</p> <p>◇ 大規模災害時における緊急輸送道路の確保</p>			
	事業費等	事業費 (事務費除く) : 145 億円 費用便益比 (B/C) : 1.1			
今後の予定	本事業は、空港へのアクセス向上や並行幹線道路の交通渋滞緩和が期待されるなど、事業の必要性・有効性が認められることから、新規着手の必要性がある。				



広域位置図



詳細位置図



横断面図